



生活を見直す

記入してもらったアンケートをもとにして面談を進めている。昨日で半分くらい済んだが、とりあえず話題に多く上っていることを報告してみよう。

*

面談では、3年生になってからの生活の様子、特に勉強の様子と、進路に関する現在の目標を聞いている。そうすることで、自分の生活の現状を客観的に振り返ってもらい、その生活が自分の進路目標を実現する方向を本当に向いているのか、素直に再考してもらいたいと思っているからである。

2年最後の面談の際には、具体的な進路方向に迷っている人が何人かいたが、今回の面談では、その部分がまだ明確になっていない人は減ってきたように思う。大学名だけだった人も、学部・学科まで書けるようになってきているし、話をしている中、自分のやりたいことができる大学・学部について、具体的に調べ始めている人が多いことが分かる。総合学習では大学を実際に訪問することになるわけだから、どの大学に出かけるのかなどもからめて、連休中などにさらに具体化するようしてみよう。

一日の学習については、部活から引退した人もまだの人も、それぞれ「勉強時間を増やした」という人ばかりで心強い。授業が始まって2週間が過ぎ、そろそろ勉強のペースができてはじめていたところだろうか。

新たに予備校に通い始めた人や、今年になってから通い始めた人も増えた。自習室の活用も含めて、うまく自分の勉強の中に位置づけていくことが必要だろう。予備校は自分のペースでうまく活用することが大切だから、

「この講座も受けた方がよい」とか、「医学部に入るにはこの講座が有利」といった周囲の情報に踊らされないようにすることが大切だ。学校よりも予備校を重視して失敗する人は、この予備校に利用されてしまうパターンが多いから、自分のやりたいことをはっきりさせて、あれもこれも…とならないように注意すること。また、レベル（や先生）が自分に合っていないと感じたり、予習・復習が十分にできていないなら、気休めに過ぎない「勉強もどき」の状態からは早めに撤退する判断も大切だ。

その勉強の話で気になるのは、計画的な学習がまだできていない人が多いことである。なにも合格までも道筋を意識しろというのはない。例えば、一日に勉強できる科目は、2～3教科(+小テストに備えたもう1教科)くらいだろうから、授業の予習・復習とからめながら、月曜日はリーディングと自選数学、火曜日はライティングと漢文、水曜日は予備校の予習と生物…といった感じで、1週間から2週間をユニットとする簡単な計画を立ててみたらどうかということである。やることを決めずに場当たりの学習をしていると、不得意科目が疎かになったり、学校の予習・復習ばかりに時間がとられて、自分でやると決めた科目に手がつかなくなったりすることになりかねない。もちろん、今の段階では学校の予習・復習がきっちりできればいいわけだが、そこに何かプラスαの要素(1・2年の復習や好きな理・社の演習など)が絡められるとベターなのである。土・日をどう活用するのも含めて、生活を見直してほしい。